

サブダイレクター推進事業実施要項

- 1 目的
各競技団体にサブダイレクターを設置する。各競技団体の競技力向上対策の企画と推進により競技力のさらなる向上を図る。
- 2 サブダイレクター（通称：国スポヘッドコーチ）要件
 - (1) サブダイレクターの役割は、2029国民スポーツ大会を見据えた競技種目の監督を想定する。
 - (2) 競技団体の強化責任者となるダイレクターと協力・業務分担して、競技力を全国や世界レベルに到達させる資質を有した者であること。
 - (3) スポーツ医・科学及びICTの活用や競技力向上に必要な要素をシステム化するための専門的な知識を有することが望ましい。
 - (4) 積極的に現場の強化を行い、国民スポーツ大会の強化に繋がられるようにすること。
 - (5) 当該競技団体会長の承認を得た者であること。
 - (6) サブダイレクターは、国民スポーツ大会（関東ブロック大会を含む）の競技種目の監督と一致することが望ましい。
- 3 対象団体及び設置人数
（公財）群馬県スポーツ協会加盟競技団体（うち国民スポーツ大会実施41競技とする）。
1競技団体あたり複数名を設置することができるが、国スポ競技種目数を上限とする。ただし、男女種別でそれぞれ設置することはできない。
- 4 任期 令和8年4月1日から令和9年3月31日までとする。
- 5 委嘱
当該競技団体会長からの推薦に基づき、推進本部長が委嘱する。
但し、県、県教育委員会及び県スポーツ協会が任務の遂行に適さないと判断したときは、相互の協議のうえ委嘱期間中でも解職することができる。
- 6 活動
 - (1) ダイレクターとともに競技団体の組織と体制を整備し、競技力向上対策を具体化するための年間計画、短期・長期対策を策定する。
 - (2) 当該競技団体の強化事業を企画し、積極的に現場調査を行い現場指導者に助言をする。
 - (3) 県、県教育委員会・県スポーツ協会の開催する会議・研修会に参加し、情報交換や研修に努める。
 - (4) 定期的に競技力向上対策や結果について評価・分析する。
- 7 活動費
 - (1) サブダイレクターの謝金は、1人年額200,000円を上限とする。
但し、事情によってあらかじめ本人の同意のもとに支給しないこともある。
 - (2) 活動費の支払いは、群馬県が競技団体に交付する競技力向上対策費補助金から、競技団体の事務局経由で本人口座へ振込するものとする。
- 8 具体的業務内容（合計業務時間：60時間／年間を想定）

- (1) 選手育成事業に係る業務（最大 30 時間程度／年間を想定）
 - ・強化選手や強化担当の指導者の管理
 - ・国民スポーツ大会の競技力分析に係る業務 等

- (2) 指導者強化学業に係る業務（最大 10 時間程度／年間を想定）
 - ・上級指導者への指導実践
 - ・上級指導者を招聘しての指導者資質向上のための研修 等

- (3) 科学的トレーニング活用事業に係る業務（最大 20 時間程度／年間を想定）
 - ・科学的トレーニングの啓発
 - ・ダイレクター・医科学担当者・強化拠点制度マネージャーとの連携 等